

令和3年度 事業報告

1 会議の開催

●幹事会の開催

- ・日時：令和3年6月16日（水）10:00～11:30
- ・場所：（公財）北九州産業学術推進機構 技術開発交流センター1F 中会議室
- ・議事：総会議事の確認、市内発ロボット創生事業審査会

●総会の開催

- ・日時 令和3年6月30日(水) 13:00～13:40
- ・場所 西日本総合展示場 AIMビル 3階 314・315 会議室
- ・参加者 14名

●セミナーの開催

①定期総会記念講演他

- ・日時：令和3年6月16日（水）13:00～15:35
- ・場所 西日本総合展示場 AIMビル 3階 314・315 会議室
- ・参加者 34名

○記念講演(1)

- ・講演「産業応用を想定したロボットによるマニピュレーションの研究」
講師：大阪大学大学院 基礎工学研究科 教授 原田 研介 氏

○記念講演(2)

- ・講演「寄り添い」と「思いやり」のニューノーマル・ロボット ～未来の総合知を考える～
講師：作家 瀬名 秀明 氏

○令和2年度市内発ロボット創生事業 成果報告

- ・講演「断崖絶壁での攀じ登りを可能とするロッククライミングロボットの研究開発」
講師：九州工業大学大学院 機械知能工学研究系 准教授 永岡 健司

2 研究開発の支援

ロボット開発や実用化の促進を狙い、北九州市内の大学や企業等で進められている様々な研究開発プロジェクトに対し、研究会の運営や技術的な課題への助言など資金面も含めて支援を実施。

●市内発ロボット創生事業

令和3年度は、下記テーマによる試作を通じ、市内ロボット産業の振興を支援。

テーマ：「収穫コンテナ自動排出・格納機能を有する農作業用汎用型移動台車の開発」

リーダー：北九州工業高等専門学校 松尾 貴之 准教授

活動期間：令和3年8月20日～令和4年3月31日

研究グループ：九州工業大学、花田商事株式会社、FAIS

研究概要：近年ロボットによる農作物収穫作業の自動化について盛んに研究されているが、収穫後の作業（コンテナの運搬・整理などの物流）についてはほとんど議論されず取り組みも進んでいない。そこで、農場内自動物流システムの開発を行った。

3 人材育成の推進

●生産性向上スクール

基礎から中級レベルまで幅広い知識の習得を目的とし、システムインテグレータ候補者を対象とした、以下の6講座（延べ12回）を開講し、延べ受講者数43名を育成した。

- 1 産業用ロボット基礎講座
- 2 ロボット活用講座
- 3 ロボットビジョン講座
- 4 協働ロボット体験講座
- 5 ロボットシミュレータ活用講座
- 6 ロボット・IoT連携体験講座

4 情報発信・交流の促進

北九州市が保有するロボット技術について市内外にPRするとともに、市民のロボット技術に対する理解を深めるため、ロボットに関する情報や北九州ロボットフォーラムの活動を発信した。

●展示会の開催

- ・ロボット産業マッチングフェア北九州 2019(西日本総合展示場新館)
 期間 令和3年6月30日(水)～7月2日(金)
 出展数 16社・団体、29小間
 来場者 8,568名(3日間合計)

●展示会への出展

- ・2022 国際ロボット展(東京ビッグサイト)
 期間 令和4年3月9日(水)～12日(土)
 出展数 4社・団体/3小間
 来場者 62,388名(4日間合計)

●後援・協力

- ・日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門九州地区競技会
 「フューチャードリーム!ロボメカデザインコンペ2021」:令和3年12月18日にWEB開催。
- ・第7回トマトロボット競技会:令和3年12月4～5日にオンライン及び北九州学術研究都市にて開催。

5 収支報告

令和3年度 支出

	内 容	内 訳	決算額
1	展示会出展	ロボット産業マッチングフェア@西展 国際ロボット展@東京ビッグサイト	1,500,400 3,556,243
2	研究開発支援	市内発ロボット創生事業(高専・松尾先生)	2,501,000
3	人材育成	ロボットフォーラムセミナー講師謝金	60,000
		計	7,617,643

令和3年度 収入

	内 容	決算額
1	北九州市からの補助金	
	計	7,617,643